

栽培活動における SNS を活用した技術支援の取り組み

龍野巳代^{a)}

a) 鹿児島大学 教育学部実習地

1. はじめに

鹿児島大学教育学部実習地では、年間約 150 名の学生が自主栽培に参加し野菜栽培に取り組んでいるが、活動時間が学生ごとに分散するため、技術職員による個別の栽培指導には限界がある。この課題に対応するため、2023 年より、学生の多くが利用している SNS である Instagram を用いて栽培方法を短尺動画で発信する取り組みを行ってきたところ、圃場で動画を繰り返し視聴しながら作業を進める学生が現れるなど、教材としての手応えを得られた。

こうした成果を踏まえ、令和 8 年度は、撮影・編集機材を整備するとともに、発信内容を教育効果の検証まで含めた研究として位置づけ直した。本報告では、その後の取り組み内容と現状の課題について報告する。

2. SNS の概要 Instagram

① ターゲット

大学生、卒業生、現職教員（栽培指導に関わる小学校・中学校・高校の教員を含む）、および栽培・農業に関心のある一般フォロワーを対象としている。フォロワーバックは関係機関等に限定している。

② 目的

視覚的に伝わるショート動画の特性を生かし、①学生が圃場で反復視聴できるよう、1 分前後で要点を端的に伝える教材を提供すること、②フォロワーとの双方向のやり取りを通じて発信内容の改善につなげること、③発信・視聴データをもとに教育効果を検証すること、の 3 点を目的としている。

③ 体制

投稿担当は技術職員 2 名で、撮影は主に iPhone によるスマートフォン撮影が中心となっている。科研費により DJI Osmo Action Nano、DJI Mic Mini を整備したほか、Mac mini M4/Final Cut Pro についても発注済みだが、納品が大幅に遅れており、現時点では未整備である。そのため、整備済みの機材も含めて日常の撮影・編集に十分取り入れられておらず、スマートフォン撮影が中心となっている現状があり、機材を生かしきれていない部分は今後の課題である。

3. 具体的な投稿内容と運用について

① 栽培の管理動画

自主栽培参加者に実践してほしい剪定・追肥・灌水・収穫等や、台風後の臨時の作業などを中心に発信している。



② フォロワー参加型の企画

「大学生めし」「わたしの野菜」と題したものを応募し、フォロワーから寄せられた収穫写真や料理の写真などをストーリーで紹介し、収穫のモチベーションを保たせている。また、Instagram ストーリーの質問機能を用いて「こんな動画を見たいを教えてください」という形で事前のニーズ調査を実施し、間引き、施肥、夏野菜の管理、病虫害、学生の活動風景、収穫の様子など、寄せられた要望を今後の動画テーマの参考としている。

4. 今後の課題

今後の課題として、第一に、整備した機材を実際の撮影・編集に落とし込み、スマートフォン撮影中心の現状から、より安定した映像品質での発信へ移行することが挙げられる。第二に、事前・事後アンケートによる教育効果の検証を計画通りに実施し、学生の理解促進・技能定着・学習意欲への効果を定量的・定性的に把握することが必要である。第三に、通常業務との兼ね合いの中でどのように投稿頻度と質を維持するかという運用上の課題がある。そのほか、YouTube への展開や AI を活用した構成の生成・視聴者データ分析についても、次年度以降の研究課題として検討していきたい。

謝辞

本研究は JSPS 科研費奨励研究 JP26H00094 の助成を受けたものである。